

学校課題・願い

- ・安全・安心な校風づくり
- ・主体的に学び、考え、行動できる生徒
- ・確かな学力を身に付け、自分の思いを表出する生徒
- ・多様性を尊重し支え合い認め合う生徒
- ・ふるさと丹生川に誇りと愛着を持つ生徒

学校教育目標

自ら・共に

育てたい資質・能力

高山市教育の方針と重点

- 方針** 未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成
- 重点** 自分らしく一歩踏み出し、乗り越え挑戦する子

主体的に考え行動する力・つながり認め合い支え合う力

	「自ら」を育てるために	「共に」を育てるために
力をつける学習	学ぶ楽しさや喜びを味わい、「できた・分かった」と実感できる授業づくり ～「主体的・対話的で深い学び」を生み出す授業改善・画一的な授業からの脱却～	
	・「やってみたい」を生み出す指導計画（単元構想・導入の工夫） ・生徒が自ら追究方法を選択できる準備と工夫 ・アウトプットにつながる支援の工夫（深い学びの姿を明確化） ・学び方の振り返り・変容の自覚の設定（指導と評価の一体化）	・「わからない・できない・間違えた」を出せる学習集団づくり ・ファシリテーターとしての教師（見届け・価値づけ・方向づけ） ・多様な他者と協働した学習活動の設定（必然性のある対話活動 ICT の効果的な活用・多様な活動形態）
心を育てる生活	「志・考・動」を積み重ね、自分らしく生きる土台づくり・絆づくり ～いじめ・不登校の未然防止と対策、教育相談の組織対応～	
	・人権感覚の育成（日常の取組・全校道徳やひびきあい集会） ・「なりたい自分」へ努力と挑戦の積み重ね（自己理解・PDCA） ・「自ら」「一人でも」の姿の生み出しと価値づけ ・仲間に指摘ができる自分づくり 「それでいいのか」…本質に迫る職員集団 ・SNS や睡眠等の自己管理能力の育成	・安心して自分を出せる人間関係づくり（異年齢交流） ・個の努力と達成度を共有・認め合う場の設定 ・「共に」行動の促しと価値づけ ・仲間の呼びかけを、「姿で返す」「支える」集団づくり 「君たちはどう思う？」…簡単に答えを出さない職員集団 ・流されない、守り合う集団づくり
郷土愛を育む探究	多様な人とのつながり、ふるさと丹生川を愛し未来につなぐ郷土教育 ～生徒の主体性を引き出す工夫改善～	
	郷土学習「にゅうかわ学」「1年：丹生川の自然・歴史」「2年：丹生川の産業」「3年：丹生川への関わりと意思」 ・丹生川を知り、人から学び、地域社会人としての関わり方を模索する探究活動 ・國學院大学との共同研究の推進、地域の人・関連団体・企業との連携 ・発信活動（1年：魅力発信 CM 2年：人の魅力を伝えるプレゼン 3年：地域への関わりと自分の意思を訴えるプレゼン） →プレゼン教育の推進（相手意識・取材内容の進化「人」に焦点）	

一人一人の生徒を大切にする安心・安全な校風づくり

- ◇学年チーム担任制（どの子にもみんなで関わる・複数の目で5つの「みる」・スピード対応）
- ◇その子の困り感を的確に認知し、適切な対応が取れる体制づくり
- ◇卒業後の進路を明確にもち、その子のつけるべき力に寄り添った指導の推進
- ◇校内教育支援センター・「移動であい塾」等の活用による居場所づくり
- ◇「いのち1番」（危機管理・未然防止に努める「ぎふいのちの教育」の実践）

家庭との連携

- ◇生徒のよさや頑張り、「なりたい自分」を共有→信頼関係の構築
- ◇わかりやすい説明・情報発信・傾聴（各担当による電話対応・学校だより・メール・メディア掲載）
- ◇開かれた学校（行事・授業の参観、三者懇談、PTA 研修）

地域との連携

- ◇小中連携（切れ目のない支援体制づくり、丹生川の学び方・生活指導を推進）管理職会・担当者会・小中兼務・合同研究会・PTA
- ◇「学校運営協議会」「すくなく子連携協議会」「支所会議」「まち協」

「自ら 共に」を生み出す職員

- ① 職員自身の心身の健康管理と家庭を大事にする（元気の源）業務の質と効率を上げ楽しく働く
- ② 職員一人一人が学校運営への参画意識をもち、資質・能力の育成を意図した提案をする
- ③ 教科指導力・生徒指導力の向上を目指し、自ら学ぶ・学びあう（日頃の対話・校内研・センター研・ミニ研修等）
- ④ 小さな変化を見逃さない 5つの「みる」**見（表情）・観（観察）・視（原因を探る）・診（判断）・看（見届ける）**と些細なことも報告・連絡・相談（一人で抱え込まず、スピード対応）
- ⑤ 人権感覚・コンプライアンス意識を高め、社会人・学校職員として当たり前の言動をとる